

伊賀市社会事業協会 2017

2017年(平成29年)10月1日 第35号
発行者
社会福祉法人伊賀市社会事業協会
〒518-0032 三重県伊賀市朝屋739番地の2
TEL:0595-21-5545
FAX:0595-23-6670
URL <http://www.iga-sjk.or.jp/>

元号と皇紀

社会福祉法人伊賀市社会事業協会

名誉顧問 森下達也

「新しい元号は平成であります」と告げながら、小淵恵三内閣官房長官が、墨書された台紙を示す姿は記憶に新しい。しかし今年六月九日の参議院本会議で、天皇陛下の生前退位等に関する皇室典範特例法が成立、同月十六日に公布されたから、平成の改元は必至となった。申し上げるのも畏れ多いことながら、今上陛下も私も、あの大戦前夜というべき昭和一桁時代に生を享けた。そして、陛下と殆ど同じ時代を私は生きて来た。私の心の中で、万感を共有して下さるのは今上陛下なのである。正直に申し上げるが、生前のご退位はただただ残念である。

昭和という元号が、日本史上格別に長かったので、平成を短く感じる方が多いのかもしれない。しかし日本で最初に元号が用いられた飛鳥時代以来、平成という元号は四番目に長いのである。即ち、昭和が六十四年、明治が四十五年、応永が三十五年、そして平成という順になる。応永は南北朝合一後の室町時代だが、実は天然痘の大流行により改元されて生まれた元号のようだ。人工知能時代の入り口をくぐった平成は、その任を終えたあとどんな未来へバトンタッチするのであろうか。

第二次世界大戦終結後の日本で、元号存続の危機があったことを知る人はもう少ないだろう。しかし筆者私が、まだソ連軍占領下の大連にいた頃、すでに元号をめぐる提言や主張が飛びかっていたのである。元号を廃止して西暦のみにする、或いは、独立国の象徴としての元号を守り通すべき、などであるが、憲政の神様と称される尾崎耆堂が、衆議院議長に提出した意見書はユニークであった。ポイントは、昭和二十一年を「新日本元年」とし、以後は無限に「新日本何年」という表記をつけるという案である。つまり日本発の西暦であり、後述の「皇紀」の新生日本版と

もいえる。大変興味深いのが、朝鮮戦争が勃発すると元号議論は棚上げになり、後年の元号法制定が結着となった。

今では、文化的歴史的存在にすぎない「皇紀」について、少し触れよう。皇紀とは明治政府が定めた日本独自の紀年法で、神武天皇即位の年を古事記と日本書紀の記載から定め、その年を皇紀元年としたのである。そこから勘定すると、私がまだ小学生であった昭和十五年が丁度皇紀二千六百年となり、日本中いや大連でも奉祝の歌をうたい、旗を振って行進したのであった。

残り少ない紙面であるが、少し脱線させて頂く。私の妻は皇紀二千六百年の年に小学生となった。この伊賀に住んでいたが、親からその時セルロイドの筆箱を買ってもらったという。筆箱には皇紀を示す大きな算用数字と、「ベティちゃん」という少女の顔が描かれていたようだ。パラマウント映画に登場する架空のアメリカ少女である。それを聞いて私は何故かほっとした。対米開戦を目前にして、寛容な心が失われつつある時代に、皇紀とアメリカ少女の共存する筆箱がお咎めなく使われていたのである。

—平成二十九年八月十五日—



風になびく—面は般若(伊賀市) 松田昇写真集「風土記」より

第32回

子どもフェスティバル

ようこそ おはなしのくにへ

日時：2017年10月28日(土)
9：30～16：00

場所：伊賀市ゆめが丘1-1-3
三重県立ゆめドームうえの 第一競技場



職員による楽しいコンサート

午前の部 10：30～
午後の部 13：30～

みんなで一緒に歌いましょう。

3・4・5歳児の絵画展示

約900点の絵画が、ドームいっぱい
に展示されます。

放課後児童クラブコーナー

児童クラブ8施設の作品展示をします。
また、遊びのコーナーもあります。

他にも楽しいコーナーが
いっぱいです。



あそびのひろば

「きんぎょがにげた」「ぐりとぐら」
「はらぺこあおむし」「おむすびころりん」

4つのお話を基に、身近な素材を活かした制作物で、
遊びを展開していきます。

新築移転しました

放課後児童クラブ成和東

開所2年目を迎えた「成和東」は、今年、
小学校敷地内に新築
移転しました。地域
や学校と、より交流
を深めながら、放課
後の心地よい居場所
作りと、保護者の就
労支援に努めていき
たいと思います。



新園舎建設中

府中保育園

地域の児童数の減
少と園舎の老朽化に
より、当園は伊賀市
立佐那具保育所と統
合し、府中地区の保
育園として大きく生
まれ変わります。
建設中の新園舎を
見学し、ますます完
成が待ち遠しい子ど
もたちです。



2018年1月 保育開始 (定員140名)

絵画教室

〜友だちを描いたよ〜

中瀬城東保育園

伊賀市東谷在住の日本画家松永伸先生による絵画教室を実施しています。

子どもたちは、緊張しながらも、「笑っている顔を描こう」「○○ちゃん、服見せて」と、前に座る友だちを描きはじめました。先生から一人ひとりアドバイスを受け、子どもたちはどんどんイメージが膨らんできたようです。出来上がった作品を見て満足気でした。



みんなの絵が完成

リトミック

〜リズムに合わせて表現しよう〜

ひかり保育園

昨年度から声楽家の小林里香先生による、リトミック教室を実施しています。ピアノの低い音が聞こえてくると「この音はドシンンって歩いたらいいな」また、軽快なリズムに変わると「早歩き」の音やなどと、リズムに合わせて体を動かし、楽しんでいきます。

先生を真似てみんな足踏み鳴らしている、リズムが見事に揃い、「やった〜！音がひとつになった」と顔を見合わせる子どもたち。リトミックが感性に触れた一瞬でした。



放課後児童クラブ「フレンズうえの」との交流会

〜小学校へ早く行きたいな〜

みどり第二保育園

「保育園の椅子ってこんなに小さかったかな」「僕、赤ちゃんの時からこの保育園に来てたよ」などと懐かしむ声から始まった交流会。小学校やフレンズうえのの様子を紙芝居で教えてもらうと「小学校早く行きたいな」「フレンズうえのって楽しそうやな」という園児の声が聞かれました。伝承あそび「お寺のおしよっさん」などをして、じゃんけんがきまると大歓声。また、ビンゴゲームと一緒に歌をうたって楽しいひとときを過ごしました。



「じゃんけんぽん」



視覚障がい者支援の プロフェッショナルとして

盲養護老人ホーム 梨ノ木園

当園では、毎年、職員の支援技術の向上を目的とした、視覚障がい者体験を行なっています。

ご利用者を誘導する際、「あつちです」「こっちです」と声をかけている場面を見かけることがあります。そこで今年の体験テーマを「移動」とし、アイマスクと高齢者擬似体験キットを使った移動体験を行ないました。



点字ブロックの重要性を体感しました



エレベーターのボタン操作もひと苦労

利用者役と介助者役が2人1組になり、移動の際に、介助者が「あつち」「こっち」という表現で誘導したり、そっけない声かけで介助をすることにより、ご利用者がどのような気持ちになるかを感じる貴重な機会となりました。

体験を通して、もう一度声かけや介助方法を見直し、日々の支援の更なる向上に活かせるよう取り組んでいます。

梨ノ木職員研修会

各施設の取り組み発表会

法人内の介護関連の4施設では、1年間で特に重点的に取り組んだことや、普段から取り組んでいることなどを、年度末の3月に発表し合っています。普段は聞けない他施設の実践例を聞くことで、新たな発見もあり、活かせる部分は活かし合いながら、各施設が、それぞれより良い支援や介護を提供できるように努めています。



洗口剤の効果について説明する職員

平成28年度 各施設の発表内容

盲養護老人ホーム 梨ノ木園

〃 権利擁護委員会における言葉掛け意識向上に向けた取り組み
特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園

〃 生活機能の原点回帰を目指して 〃 紙パンツから布パンツ
身体障害者支援施設 梨丘園

〃 FTS 口腔ケア 〃 一歩先の歯磨きへ
老人デイサービスセンター なしのき

〃 機能訓練 〃 なんでもりハビリに繋がります

花言葉は「恋の喜び」

身体障害者支援施設 梨丘園

少し暑いぐらいの晴天のなか、余野公園に行きました。車内では「雨が降らなくて良かったな〜」「日差しがきつくて、日焼けしなかな」と会話が弾みました。

園内は白や鮮やかなピンクのつつじが満開で、ほのかに漂う甘い香りに足を止め、芝生の上に落ちていいる花を髪に挿したりして楽しみました。

お弁当には、から揚げや大きなおにぎりが入っており、「外で食べるお弁当は美味しいな〜」とみなさん笑顔で味わっていました。



つつじの前で「ハイ! チーズ」



「いただきまーす」

機能訓練について

老人デイサービスセンター なしのき

本年度より、スタッフに理学療法士が加わり、ご利用者の機能訓練を実施しています。

ご自宅で充実した生活を過ごせるように、理学療法士を中心に、機能訓練指導員とケアワーカー等、他職種の職員が連携をとりながら行なっています。

デイサービスでの機能訓練が、暮らしの楽しみの一つとなり、ご利用者が抱えている体力低下による不安を和らげていただけたらと思っております。



「なしのき」に来て元気になりましょう

かわいい面会者

〜明治と平成のふれあい〜

特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園

曙保育園の園児が来園し、練習してきた歌や踊りを上手に披露してくれました。

また、お年寄りのそばに寄り添い「両手をそろえてトントン トン」と歌にあわせて肩たたきをしたり、肩や頬をお互いに撫で合ったりして、ふれあいの時間を過ごしました。ご利用者の皆さんは、園児たちが前にくるとニコニコされ「やわらかいなあ」と小さな手や頬のぬくもりを感じていました。

ご利用者は、小さなお客さんの訪問に涙し「可愛らしくてよかったです」と感動されていました。



おばあちゃん107歳

わたし5さい



おじいちゃんおばあちゃんの前で発表

日常生活用具展示体験会

上野点字図書館

盲養護老人ホーム梨ノ木園で、目が見えない・見えにくい人のための「日常生活用具展示体験会」を開催しました。

当日は、約50点の用具を「遊ぶもの」「生活に便利なもの」「読み書きに便利なもの」の3つのコーナーに分けて展示し、身の回りにある点字付き商品や上野点字図書館で貸し出しを行なっている点字・録音・拡大図書などをご覧いただきました。この展示体験会が、視覚に障がいがある方や、ご家族、支援者の皆様にとつて、より快適な生活につながっていくことを願っています。



おしゃべりする電卓 これは便利！

「お灸」の話

灸治療は昔から「やいと」という名で親しまれながらも、熱い、臭い、痕が残るといイメージがありますが、今では、間接的に温めたり、弱い刺激でも気持ち良くて効果のある「箱灸」「棒灸」などいろいろな種類があります。

また、良質のもぐさは、乾燥させた蓬たぐさの葉の裏の毛を集めたもので、特有の良い香りには、リラックス効果があります。

当施設では、資格を持った治療師が、あん摩マッサージ指圧・鍼・灸の三療を行なっています。治療を受けに来られた方の身体の痛みや状態を診ながら、鍼や灸を併せて行ないます。

【お問い合わせ】0233・15111

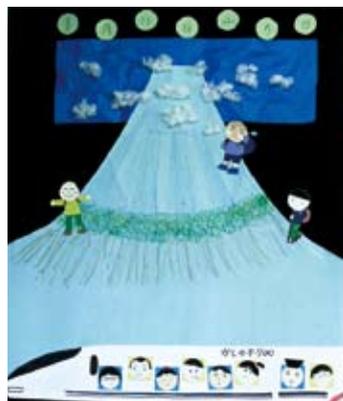


箱灸治療の様子

伊賀市盲人ホーム

壁面飾りを作りました

「富士山に登ってみたいな」



かしの木ひろば

「8月11日って富士山の日だったかなあ」「違うよ、山の日だよ」「じゃあ山登りしようか」。ご利用者直筆の似顔絵を貼って、みなでかしの木富士に登りました。



富士山見たいなあ

コンビニへ行きました

週2回、全身清拭や洗髪等の支援で、Mさんのお宅を訪問しています。

先日「コンビニへスイーツを買いに行きたい」との希望で、特別仕様の車いすに人工呼吸器と吸痰機を乗せて、初めて外出しました。

食べたい物や家族へのお土産を沢山買いました。「自分で選んで買ったのが最高」「美味しかった」と、満面の笑み。普段屋外に出る機会が少ないMさんは、車椅子から見る景色に大興奮。いろいろな話題で盛り上がりました。



スイーツを買いに いざ出発！

◆ご支援ご協力いただいている方々◆

(平成 29 年 2 月～平成 29 年 8 月)

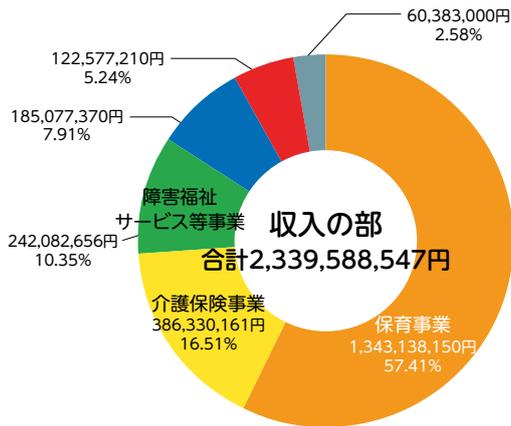
《個人》 —敬称略・五十音順—

五百田 季津紀、稲森 千鶴子、井上 操、上田 真美子、岡田 勝美、岡田 充恵、岡森 眞理子、小田 久吉昭、貝増 恒子、勝 真由美、門田 進、神村 久仁江、川上 一生、川口 万里、北泉 優子、木下 真砂子、葛岡 工三子、権蛇 忠喜、清水 栄子、新土居 征四郎、菅 康子、杉本 将、鈴木 大吾、角田 宗成、角田 充代、田中 澄夫、田中 美代子、谷本 貴、田山 紗知子、塚本 初子、津田 美恵、豊岡 百子、豊田 實、中岡 紘一、中川 定子、中島 慎二、中村 節子、中森 洋子、中矢 英夫、中山 洋美、西出 成子、濱邊 美重子、東勢 てる、平嶋 さやか、福澤 正志、藤井 充子、藤永 清信、藤林 政代、藤森 直美、古川 節郎、古川 美智子、前川 悟、松田 和秀、松田 雅子、水野 文子、百北 富美子、百北 幸雄、森 合子、森岡 佑子、森下 弘子、森中 一美、矢口 幸又代、山口 義美、山田 茂生、大和 幸司、山本 濱子

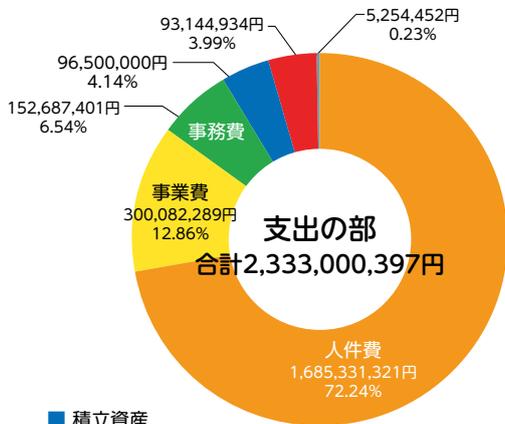
《団体》 —敬称略・順不同—

上野点訳奉仕グループあり、上野音訳グループしのご、名張点訳グループあり、名張音訳グループごたま、上野点訳図書館朗誦ボランティア、ボランティアグループミックスジュース、絵本ボランティア「もこもこ」コーラスクラブサラダ、蕉門ホール「語り部塾」、白ゆり会、はあと&はあと、伊賀FCくろ、上野東ロータリークラブ、伊賀地区交通安全協会女性部、伊賀市視覚障害者福祉会、伊賀市更生保護女性の会、煌皇俳句会、伊賀白鳳高等学校、名保保育園保護者会、朝山城村、印代地区、予野保育園教育後援会、伊賀市民生委員児童委員連合会、上野徳居町徳寿会、上野福居町自治会、小田地区市民センター、小田町住民自治協議会、白樫自治会、たかはた農村農業振興保全会、寺町ふれあいいきいきサロン、寺町老人会、東部地区民生委員児童委員協議会、友生老人クラブ、中瀬老人クラブ、長田地区住民自治協議会、長田なたねの郷づくりの会、古山地区住民自治協議会、三田地区住民自治協議会、ゆめが丘地区民生委員児童委員、安立寺、開化寺、黒住教上野中教会、平井神社、伊賀北部農業協同組合、岡三アセットマネジメント、小川整備、小川モーターズ、グリーンティ高尾、コーカ共同製茶、田山第一共同製茶工場、田山南部共同製茶工場、ヒルホテルサンピア伊賀、志摩すし店、谷本洋陶房、日本フライン、名阪上野ドライブイン、ロート製菓

平成28年度法人全体の決算状況



- 老人福祉事業
- その他の収入 (医療事業、就労支援事業など)
- 施設整備等補助金



- 積立資産
- 固定資産取得
- その他の支出 (利用者負担軽減額、支払利息など)

(詳しくはHPをご覧ください)

ロート製薬株式会社「かるがも基金」

本年度も、ロート製薬株式会社様より「かるがも基金」のご寄付をいただきました。今回は、名刺点字印刷機と録音図書「日本合戦譚」(全16巻)を購入させていただきました。当館を利用される皆様に活用していただけるよう、広く周知を図ります。



暑さ寒さも彼岸まで。時折吹く風が暑さを和らげ秋を告げているようです。彼岸と言えば、おはぎ。我が家では、亡き祖父が好物であったおはぎを、今年も母と一緒に作ってお供えしました。「おじいちゃんはいつもいっぺんに5〜6個食べていた」と話をしながら…。先祖様を大切にすること、そして、四季折々の我が家の伝統を受けついでいきたいと思えます。さて、今回も皆様方のご支援、ご協力のおかげで本紙を発行することができました。今後ともどうぞよろしくお願致します。(編集子Y)

編集後記

黄綬褒章を受章しました

当法人職員である森永典子（老人デイサービスセンターなしのき・センター長）が、平成29年春の黄綬褒章を受章しました。

当法人に就職以来39年、その間、児童・障がい者・高齢者の三分野において従事し、幅広い知識を身につけ、豊富な実践経験を積みました。今回の受章は、福祉サービスマンに精励してきた優れた功績を称えられたものです。

この栄誉は、当人のみならず、全職員にとつて大変喜ばしいことです。私も職員一同、この栄誉に恥じぬよう、より良い福祉サービスの提供を目指し、更に研鑽を積んでいきたいと思っております。

「日盲社協奉仕者表彰受賞」

～おめでとうございませう～

日本盲人社会福祉施設協議会主催の第65回全国盲人福祉施設大会において、上野点字図書館の音訳ボランティアの竹田悦子さんと中原久美子さんが、奉仕活動者表彰を受賞されました。

心からお祝いを申し上げますとともに、多年のご奉仕に深く感謝申し上げます。



竹田悦子さん

中原久美子さん



第17回 往古梨まつり

11/3(金・祝)
10:30 ~ 15:00

会場 梨ノ木園 (伊賀市朝屋734-1)

お問い合わせ 梨ノ木園
☎0595-23-1555



第32回 子どもフェスティバル

～ようこそ おはなしのくにへ～

10/28(土)
9:30 ~ 16:00

会場 三重県立ゆめドームうえの 第一競技場
(伊賀市ゆめが丘1-1-3)

お問い合わせ 法人本部事務局
☎0595-21-5545

詳しくは P2

参加無料

「健康体操教室」開催中

偶数月 第4土曜日

13:30 ~ 15:00 (要申込)

講師 木下美佐子先生 (鍼灸師・健康体操指導員)

会場 伊賀市盲人ホーム
(伊賀市上野寺町1184-3)

お問い合わせ 伊賀市盲人ホーム
☎0595-23-1511



楽しい企画
もりだくさん♪

ぜひ
お越しください!!



社会福祉法人
伊賀市社会事業協会

igashi-shakaijigyokukai

〒518-0032 三重県伊賀市朝屋739-2

TEL.0595-21-5545

FAX.0595-23-6670

www.iga-sjk.or.jp/

伊賀市社会事業協会

検索

— あなたの笑顔が子どもたちの未来につながります —

保育士 募集中!

みなさまの生活スタイルにあった働き方を、ご提案いたします。

お問い合わせ 法人本部事務局 ☎0595-21-5545

